

目 次

1. ALLOCATEコマンドのレベルアップについて (MSP)	1
2. パスワードの制限強化について (MSP)	4
3. AVSの公開について	5
4. 平成5年度利用者旅費について	6
5. FORTRAN使用法 (MSP) 講習会の開催について	7
6. UXP利用講習会の開催について	8

1. ALLOCATE コマンドのレベルアップについて (MSP)

標記コマンドを1993年4月からレベルアップします。新機能として、データセットの属性を指定するオペランドが追加されたことにより、従来ATTRIBコマンドと組み合わせて行っていた新規のデータセット作成がALLOCATEコマンドのみで可能になりました。なお、詳しい使用方法は参考文献を参照下さい。

【機能】

ALLOCATE コマンドは作業に必要なデータセットを動的に割り当てるコマンドである。動的割当て (dynamic allocation) とは、プログラムの実行時に必要となった資源を割り当てたり、不必要となった資源を解除したりする機能を指す。関連するコマンドにATTRIB, FREE コマンドがある。

【入力形式】

ALLOCATE [FILE(DD名) | DDname(DD名)]
ALLOC [REUse]
[DATaset(データセット名 | *) | SYsout(出力クラス)]
[OLd | SHr | MOd | NEw]
[CATalog]
[SPace(初期値 [増分量])]

[**B**LOCK(値) | **T**RACKs | **C**YLinders]
 [**D**IR(整数)]
 [**U**Sing]
 [**B**LKsize (ブロック長)]
 [**L**RRecl (論理レコード長)]
 [**D**SOrg (PO | PS)]
 [**R**ECfm (レコード形式)]
 [**T**Empds (一時データセット名)]

オペランド欄で、太文字は先の部分が省略可能であることを意味します。
 例えば **T**RACKs は TRA と指定するだけで TRACKS が入力されたと解釈されます。

【オペランドの説明】

FILE : 割り当てを行うデータセット定義名を指定する。
DDNAME : 割り当てを行うデータセット定義名を指定する。
REUSE : すでに割り当てられている DD 名を一旦解除してから再割り当てを行う。
DATASET : 入出力を行うデータセット名を指定する。端末に出力するときは * を指定する。
SYSOUt : 出力クラスを指定。
OLD : 既存のデータセットを他の利用者と排他的に使用する。
SHR : 既存のデータセットを他の利用者と共有して使用する。
MOD : 既存のデータセットに追加して書き込む。
 存在しない場合は新規に作成する。データセットの使用は排他的に行なう。
NEW : データセットを新しく作成する。
CATALOG : 新規に作成したデータセットをカタログ簿に登録する。
SPACE : データセットを新規に作成する場合、確保する領域(大きさ)を指定する。
 大きさの単位は次のいずれかで指定する。
 BLOCK - ブロック単位。値のレコードの平均長(バイト)。
 TRACKS - トラック単位。
 CYLINDERS - シリンダ単位。
DIR : 新規に作成するデータセットが、区分データセットであることを宣言する。
 単位はブロック。
USING : 割り当てるデータセットの属性リスト名を指定する。属性リストをあらかじめ
 ATTRIB コマンドで作成してある場合に有効。
BLKSIZE : データセットを構成するブロック長を指定する。
LRECL : データセット中のブロックを構成する論理レコードの最大長を指定する。
DSORG : データセットの編成を指定する。
 PO - 区分データセット
 PS - 順データセット
RECFM : データセットのレコード形式を指定する。
TEMPDS : 一時データセットを指定する。
 複数の DD 名で同時に割り付けて使用することも出来る。

【使用例】

- 固定長ブロック化形式の順編成データセット TEST.DATA を新規に作成する。1 ブロックの大きさは最大 23440 バイト。

```
READY
ALLOC DA(TEST.DATA) NEW CA SP(10 5) TRA REC(F B) BLK(23440) LR(80) DSO(PS)
```

これは従来の手順と同じ

```
READY
ATTR ABC LR(80) BLK(23440) REC(F B) DSO(PS)
ALLOC DA(TEST.DATA) NE CA TRA SP(10 5) US(ABC)
```

- 可変長ブロック化形式の区分編成データセット EX.TEXT(EX) を新規に作成する。

```
READY
ALLOC DA(EX.TEXT(EX)) NEW CA SP(10 10) TRA DIR(5) + <--- 継続の印
REC(V B) BLK(23440) LR(255) DSO(PO)
```

これは従来の手順と同じ

```
READY
ATTR ABC LR(255) BLK(23440) REC(V B) DSO(PO)
ALLOC DA(EX.TEXT(EX)) NE CA TRA SP(10 10) DIR(5) US(ABC)
```

- 一時データセット WORKDS を DD 名 FT01F001 と FT02F001 に同時に割り付けて使用する。一時データセットであるので、領域の大きさに制限がなく、アクセス速度も保存データセットより早い。

```
READY
ALLOC F(FT01F001) TEMPDS(WORKDS) NEW SPACE(10 5) TRACKS +
LRECL(255) RECFM(V B) BLKSIZE(23440) DSORG(PS)
```

```
READY
ALLOC F(FT02F001) TEMPDS(WORKDS) OLD
```

一時データセット名は先頭が英字の 8 文字以内の単純名を指定。また、一時データセットは FREE コマンドまたは LOGOFF コマンドで消去される。

【参考文献】

- 「利用の手引・TSS 編」九州大学大型計算機センター・ネットワーク室, 1993.
- 「OS IV/MSP TSS/E コマンド文法書」(79SP-4091), 富士通株式会社.

- 「MSP / FORTRAN 利用法」 畑 三千代, 渡部 善隆, 国宗 眞, 肥田木 直子, 九州大学 大型計算機センター広報, to appear.

(ライブラリ室 内線 2509)

e-mail : f70029a@kyu-cc.cc.kyushu-u.ac.jp

2. パスワードの制限強化について (MSP)

平成5年4月よりMSPのパスワードの制限を強化します。

初期パスワードのままや, センターが好ましくないと認めたパスワードを設定されている方には, LOGON時に下記のメッセージが表示されます。

```
*****
* 貴方のパスワードは, 盗まれ易いので変更をお勧めします! *
* PASSWORD コマンドで変更することができます。 *
* 詳細は, センターニュース No.482 を参照して下さい。 *
*****
```

P A S S W O R D コマンド

コマンド	オ ペ ラ ン ド
PASSWORD	な し

機能 : パスワードを変更する。

使用例 (下線部分が利用者の入力箇所)

READY

PASSWORD

ENTER OLD PASSWORD : _____ ← 現在のパスワード (エコーバックしません)

ENTER NEW PASSWORD : _____ ← 新しいパスワード

RE-ENTER NEW PASSWORD : _____ ← もう一度新しいパスワード

MSG パスワードを変更しました。 ← パスワードの変更が成功した

指定可能なパスワードは英字で始まる8文字以内の英数字です。

ただし, 以下のようなパスワードは受け付けません。

- ・ 3文字以下のもの : A, NAO, ZZ など
- ・ 課題番号と同じもの : A79999A, C79999K など
- ・ 現在のパスワードと同じもの
- ・ 先頭が英字でないもの : 9TAC, 0101 など

パスワードには、記号も使用することができますが、LOGONコマンドと同時に指定する場合は ' (シングルクォート) で囲まなければなりません。また、特殊な端末からしか入力できないような記号を指定すると、他の端末からLOGONできなくなる場合があります。

(システム管理掛 内線2518)

3. AVSの公開について

平成5年4月5日(月)より、標記ソフトウェアを公開しています。AVS(Application Visualization System)は、汎用可視化ソフトウェアであり、格子点の1～3次元スカラー、ベクトルデータや非構造格子データ、ジオメトリ、イメージ、分子データ等を入力とし、AVSのソフトウェア部品を組み合わせてネットワークに組み込むことにより独自の可視化アプリケーションを作り上げることができるものです。なお、AVSはワークステーション qvisa 上でのみ利用できます。

ワークステーション qvisa について

- ・設置場所

九州大学大型計算機センター2階オープン室

- ・利用形態

予約端末です。

使用する前に2階受付の予約表に記入して下さい(1回4時間まで)。

- ・利用時間帯

9:00(月曜日は12:00)からオープン室サービス終了まで。

- ・利用資格

MSP, UXP および qvisa に登録が必要です。

UXP への登録方法 : MSP の TSS から SINSEIコマンドを入力します。詳しくは、センター発行の「利用の手引・MSPコマンド編」を参照して下さい。

qvisa への登録方法 : UXP システムに login して、tourokuコマンドを入力します。qvisa への登録は即座に行われます。qvisa のパスワードは tourokuコマンドを入力したときの UXP のパスワードと同じです。

```
kyu-cc% touroku qvisa
```

```
adduser: User a79999a added. in qvisa
```

```
kyu-cc%
```

qvissにも登録する場合

```
kyu-cc% touroku all
```

```
adduser: User a79999a added. in qvisa
```

```
adduser: User a79999a added. in qviss
```

```
kyu-cc%
```

- ・利用負担金

使用時間1分につき3円の利用負担金が UXP で徴収されます。

- ・ファイルについて

利用者のホームディレクトリは共通です(/home/user/tmp)。qvisa 上にファイルを保存

することはできませんので、ファイルは MSP または UXP に保存して下さい。

・作成した画像のプリントアウトについて

イメージデータについてはデータ変換を行った後で qviss のカラープリンタでプリントアウトすることができます。プリントアウト方法の詳細は、ワークステーションに備え付けの使用の手引きをご覧ください。

参考文献

- [1] マニュアル, AVS USER'S GUIDE
- [2] マニュアル, AVS USER'S GUIDE DIGEST
- [3] マニュアル, SPIDER Viewer User's Guide

(ライブラリ室 e-mail:f70029a@kyu-cc.cc.kyushu-u.ac.jp)

4. 平成5年度利用者旅費について

本年度の出張利用による利用者旅費は、次のとおり取り扱います。

1. 利用期間 平成5年4月1日～平成6年3月31日
2. 利用者の出張期間および旅費支給基準

地区	出発地	出張期間	日当	宿泊料	備考
1	北海道	4泊5日以内	円 1,700	円 8,700	センター内利用 期間：3日間以内 航空機利用
2～6	東北, 東京,名古屋, 京都,大阪,四国等	4泊5日以内	1,700	8,700	センター内利用 期間：3日間以内
7	鹿児島,宮崎,沖縄	3泊4日以内	1,700	8,700	センター内利用 期間：3日間以内 沖縄は航空機利用
	広島, 山口, 大分,長崎,熊本	2泊3日以内	1,700	8,700	センター内利用 期間：3日間以内
	上記以外の地域 (佐賀,北九州等)	日帰り	1,700	—	センター内利用 期間：3日間以内

イ. 旅費の支給基準は、文部省所管旅費規則に定めるところにより、運賃は普通料金とします。ただし、鉄道賃は片道50Km以上の場合は急行料金、片道100Km以上の場合は特急料金を支給します。また、日当・宿泊料については、上表のとおり行政職俸給表(一)1級相当額を支給します。なお、旅費の支給は、すべて精算払いです。

ロ. 利用者は、連絡所に備え付けの「出張利用申込書」により、連絡所を経由してセンター共同利用掛に提出してください。

6. UXP 利用講習会の開催について

標記講習会を下記の要領で開催いたします。希望者は、共同利用掛（内線 2532）にお申し込み下さい。

記

- ・日 時 5月13日（木） 10時30分 ～ 15時00分
- ・受付時間 10時00分 ～ 10時20分
- ・対 象 センター利用資格のある人
- ・募集人員 40名
- ・内 容 センターunixシステム UXPの基本的なことについて解説する
- ・会 場 大型計算機センター・多目的講習室（3階）
- ・講 師 研究開発部 佐藤 周行， システム管理掛 肥田木 直子
- ・テキスト センターで用意
- ・時間割

10:30 12:00 13:30 15:00

初 級 編	昼 休 み	中 級 編
-------	-------------	-------

- ・申込期間 4月22日（木） ～ 28日（水）
（なお、募集定員に達し次第締め切ります。）